

伊藤病院だより  
AUTUMN

# Voice

2012年9月1日発行 第39号 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院広報誌委員会



青山五丁目児童遊園

## メディカルツーリズム推進のために

世界的にグローバル化が進む一方、我が国では人口減少・少子高齢化が大きな課題となっており、観光による経済効果や成長する海外の活力を取り入れていく観点からも、メディカルツーリズムに対する関心はますます高まっています。

過去のVoiceでもご紹介のとおり、伊藤公一院長は観光庁の「インバウンド医療観光に関する研究会」設立時から委員を務めておられますが、この度、平成22年設立の国際観光医療学会の理事に協力しております。より多くの「甲状腺を病む方々のために」専門診療をご提供できるよう、国際的な取り組みを進めております。

### バンコク病院と提携しました

伊藤病院 システム管理室 齋藤功

この度、伊藤病院はタイ王国に29の診療グループを有するバンコク病院と日本人患者様の相互紹介提携を結びました。提携に先立ち7月13日に伊藤公一院長、長濱充二外科部長、北川亘診療技術部長、ヘイムス規予美医師以下7名がバンコク病院ポンサック・ブーンヤリーポン副院長と面会し、病院見学を致しました。バンコク病院はメディカルツーリズム(医療観光)を積極的に進めており、欧米や中東などの各国から多数の患者様を受け入れ治療を行っております。今回の提携によりタイ王国への転勤や帰国の際、両国間でスムーズな継続治療をしていただけることが可能になります。提携先のバンコク病院は日本人スタッフが在籍しており、一方、伊藤病院では英語・中国語・韓国語の医療通訳が常駐しておりますので言葉の心配なく安心して受診して頂くことが出来ます。伊藤公一院長は観光庁の「インバウンド医療観光に関する研究会」の委員を務め、甲状腺疾患専門病院としてより多くの「甲状腺を病む方々のために」国内外への活動を行っております。



### 上海の病院視察に行つてまいりました

7月9日～12日まで上海の医療機関を視察して参りました。中国には1級、2級、3級という病院に分けられており、その中で3級病院が一番レベル高い病院となっています。

今回は受け入れ側のご協力のもとで、3種類の病院を全部視察することができました。その中で一番驚いたのは3級病院であって、1日なんと8,000人以上の患者様が外来にいらっしゃるようです。病院建物も内外に工夫をして、広大な敷地の中に20階以上の病院建物を何個か建てられており、中国の広さをより実感することができました。

日々進んでいる中国の目覚ましい発展とともに、医療制度も昔と比べてとても良くなってきていることも耳にすることができました。

今回の視察で中国国内の医療制度や病院現状を理解することができ、これからの絶え間ない中国の発展を願っております。



### 台湾から手術見学者がいらっしゃいました

伊藤病院 広報室 テイクン

7月27日に、台湾内分分泌外科学会元理事長の趙子傑教授を含めた3人の先生方が手術見学にいらっしゃいました。

本年3月、北川亘診療技術部長が台湾内分分泌外科学会で特別講演を行った折、当院の甲状腺手術治療やその成績に高い関心を持たれ、今回の手術見学の要望がありました。当日は最初の手術から最後の手術まで、新しいデバイスを用いた手術を中心に見学をされました。手術後は日本と台湾で行っている手術の異なることや、手術中に感じられたさまざまな点について担当医師に質問され、活発で有意義な意見交換を行いました。また、趙教授が勤務しているCHANG GUNG MEMORIAL HOSPITALにもぜひ見学に来て欲しいとの言葉をいただきました。

今回の見学を通じて、今後台湾で行われる外科学会などにも積極的に参加して、国際研究交流などの推進を図っていききたいと思います。

### ロシアから見学にいらっしゃいました

7月25日、ロシアから医療関係者21名が当院に見学にいらっしゃいました。

今回の見学者たちはロシアの内科・小児科に携わっている方で、当院の他に大学病院や総合病院も見学し、日本の医療、保険制度などの現状を勉強し、参考として本国に持って行くためでもあります。

関心が高かったのは、効率的な診療、確認くろ案内モニターなどの患者様へのご案内、甲状腺疾患の専門診療、そして日本国内でもトップレベルのアイソトープ医療設備などでした。見学後は修了時間を大幅に超えるぐらいまで多くの質疑などを交わしました。

当日は多数の見学者のために患者様にご迷惑をおかけいたしました。今後大勢見学者がいらっしゃる時は、患者様にご迷惑かけないように工夫してまいりますので、ご理解ご協力お願い申し上げます。



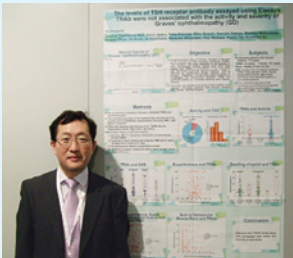
## 第15回国際内分泌学会で発表しました

伊藤病院 内科 吉原愛

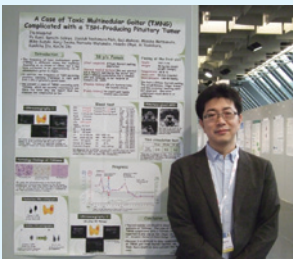
5月5日から9日、イタリアのフィレンツェにて第15回国際内分泌学会(第14回ヨーロッパ内分泌学会同時開催)が開催され、当院からは吉村内科部長、関谷医師、吉原が発表してまいりました。国際内分泌学会は2年毎の開催であり、2年前の2010年は京都で開催されました。学会は内分泌疾患全領域にわたる内容であり、甲状腺分野だけでなく、脳下垂体、副腎疾患、骨代謝異常、耐糖能異常など広い分野を網羅し、基礎研究、臨床研究の両面から活発な発表と討論が行われました。

吉村内科部長は“The levels of TSH receptor antibody assayed using Eclusys TRAb were not associated with the activity and severity of Graves’ ophthalmopathy” (バセドウ病眼症の活動性と重症度はEclusysを用いたTRAb測定値と相関しない)について発表いたしました。未治療バセドウ病において、Eclusysを用いたTRAb値とバセドウ病眼症の活動性とは関連はないとの結果でした。関谷医師は“A case of toxic multinodular goiter complicated with a TSH-producing pituitary tumor” (中毒性多結節性甲状腺腫とTSH産生下垂体腫瘍を合併した1例報告)について報告、TSH産生下垂体腫瘍は中枢性甲状腺機能亢進症を示しますが、中毒性多結節性甲状腺腫を合併した例はこれまでに報告は無く、治療経過の解釈と診断について示唆に富む経験でありました。吉原は“Low prevalence of postpartum hyperthyroidism in women after radioiodine treatment for Graves’ disease before the pregnancy” (バセドウ病アイソトープ治療後の女性において産後甲状腺中毒症は低頻度である)の内容で発表いたしました。バセドウ病など自己免疫性甲状腺疾患がある場合、産後に甲状腺機能が高くなること

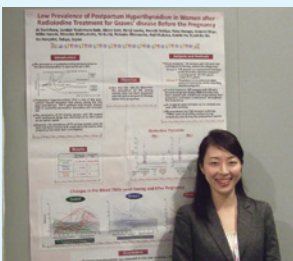
がよくあります。バセドウ病でアイソトープ治療の既往のある女性では、内服治療で寛解期にあるバセドウ病の女性と比較し、産後甲状腺中毒症の頻度が低いという結果でした。この発表は、第39回内分泌代謝研究会において「演題特別賞」をいただきました。学会で得た最新の知見を、今後の診療に生かしてまいります。



吉村内科部長



関谷医師



吉原医師

## 第3回吉林国際甲状腺外科フォーラムに参加しました

6月30日、中国吉林省で第3回国際甲状腺外科フォーラムが開催されました。この学会は2年に1回開かれる甲状腺外科学会で、今回は、アメリカ、日本、中国の甲状腺疾患の外科診療に携わる200名近くの方々が参加しました。



当院からは長瀧外科部長が、今まで当院で行われてきた甲状腺癌の治療方針からフォローアップまでの流れを発表し、参加された方々の注目を浴びました。特に当院が75年に渡って甲状腺疾患のみの治療を続けてきた点や、長期にわたるフォローアップを行うなど、患者様と病院の信頼関係を保つ方法についての質問が殺到し、自国にこれからの課題として持ち帰りたいという意見が聞かれました。



右：吉林大学甲状腺外科 張先生

そして、フォーラムの翌日は、主催者である吉林中日友好病院の見学を含め、日中医学領域における日進月歩の診療技術などについての討論会も行われました。

今回のフォーラムを機に、吉林中日友好病院との交流を深め、当院も積極的に進めているメディカルツーリズムや、日中の甲状腺診療の発展に役立てて行くための大きな成果を得て帰国することができました。

今後も中国で行われる吉林国際甲状腺外科フォーラムに積極的に参加して参りたいと思います。

## 大江戸内分泌手術手技懇話会

伊藤病院 診療技術部長 北川亘

第7回大江戸内分泌手術手技懇話会が5月12日に開催されました。この懇話会は当院をはじめ、東京の内分泌外科を専門にしている大学病院や癌専門病院などが集まり、多数の外科医が活発に討論する場となっています。今回は“甲状腺手術の工夫”をテーマに多数の発表がありました。



当院からは特別講演として杉野公則副院長が“甲状腺濾胞性腫瘍”について講演しました。甲状腺濾胞性腫瘍の当院での診断の流れや治療方法、治療成績などについて紹介いたしました。

また、ヘイムス規予美医師が“当院で経験した甲状腺内鰓嚢胞症例”、正木千恵医師が“甲状腺手術の入院期間を短縮できるか？—術後出血の検討—”を発表いたしました。それぞれの発表後、活発な質疑応答が行われました。

## サムスンメディカルセンター甲状腺シンポジウムに参加しました

伊藤病院 広報室 テイクン

6月22日韓国のサムスンメディカルセンターで日韓の甲状腺シンポジウムが開催されました。今回は日本と韓国における甲状腺疾患の治療の現状や新たな手術方法について、活発な討論が行われました。サムスンメディカルセンターは病床数690、甲状腺手術年間約2000件以上施行している最新の設備を誇る韓国を代表する総合病院です。初めにサムスンメディカルセンターの院内や実際の甲状腺手術を見学した後、シンポジウムに参加いたしました。

当院からは北川亘診療技術部長が「Japan Thyroid Surgery Overview」のタイトルで特別講演を行いました。当院の甲状腺疾患専門病院としてのこれまでの歩み、日本の甲状腺腫瘍やバセドウ病の治療の現状、手術に新たに取り入れているデバイスの有用性について報告いたしました。その発表内容は参加された方々より熱い関心を浴び、長時間によるディスカッションも行われ日韓甲状腺医療事情をより深く知ることができました。

これからも海外で開かれる学会などに積極的に参加し、専門知識を得るよう努めていきたいと思っております。



右：サムスンソウル病院 キム教授



## 日本臨床細胞学会総会で教育講演を行いました

伊藤病院 臨床検査室 佐々木栄司

6月2日に千葉の幕張メッセで開催された第53回日本臨床細胞学会総会にて、当院の伊藤公一院長が「甲状腺腫瘍に対する診療の実際」と題して教育講演を行いました。

本学会は主に細胞診検査に携わるものが属する会員数約11,000名（医師40%、細胞検査士60%）の大きな学会です。今回の講演では日本



における甲状腺診療の現状や当院の甲状腺腫瘍の診断の流れを説明しました。とくに超音波検査で発見した腫瘍の良悪性の鑑別を細胞診検査が担う重要性を説明するとともに、「高い診断率」を維持する為には医師のみでなく細胞検査士を含めた臨床検査技師の重要性を当院の実績を交えながら紹介しました。

## 第24回日本内分泌外科学会総会に出席して

伊藤病院 外科部長 長濱充二

2012年6月8日、9日に名古屋市で第24回日本内分泌外科学会総会が開催されました。この学術総会は甲状腺疾患の外科治療を専門職にする私達にとって、国内では日本甲状腺外科学会総会と並ぶ重要な情報発信と情報交換の場となっています。当院からは下記の4演題を発表しました。

- 1 杉野公則副院長：バセドウ病術後経過観察上の問題点-術後甲状腺機能亢進症再燃例の治療-
- 2 宇留野隆医師：PaclitaxelをKey Drugとした甲状腺未分化癌の治療戦略
- 3 菅沼伸康医師：甲状腺未分化癌におけるヒストン修飾
- 4 正木千恵医師：術翌日のPTH-Iと自家移植副甲状腺数からみた、副甲状腺全摘後の副甲状腺機能の検討

この学術総会が日本甲状腺外科学会総会と異なるのは、甲状腺の外科治療に携わる医師だけではなく、乳癌、副腎疾患、睥・消化管神経内分泌腫瘍など、多岐にわたる内分泌疾患の外科治療を行う医師が集まるところです。日常の診療領域とは別の分野で話題になっていることを知ることで、新鮮なヒントが得られることもあります。このような中、甲状腺の分野で今回シンポジウムに採り上げられたのは、「再発甲状腺分化癌に対する外科治療とアイントープ治療」、「甲状腺未分化癌の治療戦略」というテーマでした。治療に難渋する病状や疾患についてどのように向き合っていくかについての関心は常に高く、また様々な試みが続けられています。特に最も治療に難渋する甲状腺未分化癌について、2009年1月に他施設共同研究機関として甲状腺未分化癌コンソーシアムが設立され、日本全国の治療経験が集積されています。

この集積された経験を分析して今後の治療に活かしていくための発表の機会が最近の学術総会では多く持たれるようになってきています。伊藤病院も設立時からこの未分化癌コンソーシアムに参加をしています。今後も積極的に学術総会に参加をし、多くの情報発信と情報交換を行うことで、より質の高い診療をご提供できるように努めていこうと思っております。



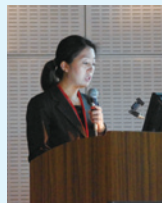
杉野公則副院長



宇留野隆医師



菅沼伸康医師



正木千恵医師

## 日本病理学会で優秀賞を受賞しました

伊藤病院 外科 矢野由希子

伊藤病院は杏林大学医学部病理学教室、菅間博教授と協力し、子供・若者の甲状腺癌への理解を深めるため、共同研究を行っています。2012年4月28日開催された第101回日本病理学会総会で、杏林大学医学部の盧昌聖君、赤坂義矢君、大島康太君が発表した「若年者甲状腺癌の病理組織学的検討」が、全国学生103演題の中から優秀賞に選ばれました。甲状腺癌は20歳以下若い人や子供にもみつかるともありません。チェルノブイリ原発事故で当時子供であった人から甲状腺癌がみつかることから、日本でも福島原発事故後、若者への甲状腺癌の発症が危惧され、社会的に大きく注目されています。今回発表された研究は、若年者甲状腺癌の基礎医学的な特徴を分析し、社会的意義が大きいと評価されました。伊藤病院では、今後も子供・若者の甲状腺癌の実状への理解を深めるための研究を続けてまいります。



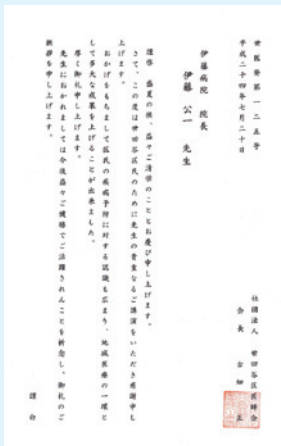
## 世田谷区「区民のための健康教室」で講演しました

7月18日に開催された世田谷区の市民講座で伊藤公一院長が講演を行いました。

この講座は区民の健康増進のために世田谷区医師会が主催しており、年4回開催されています。今回は「知っておこう！とても役立つ甲状腺の話」をテーマに、甲状腺疾患の最新の話や放射線の影響などについて、90分にわたりご紹介しました。

会場には200名ほどの方が集まり、盛会のうちに終了し、後日、医師会よりお礼状をいただきました。

写真は世田谷区医師会的小林理事と当日司会を務められた井上理事です。



## 北川亘診療技術部長が甲状腺超音波セミナーの講師を勤めました

7月21日に足立内科医会で超音波セミナーが開催されました。このセミナーは日常診療におけるエコー検査の活用向上とスキルアップを目的として開催されています。

今回『甲状腺』を対象としたエキスパート講習会が開催され、臨床特別講演で北川亘診療技術部長が「甲状腺診断のポイントとエコー検査を使いこなすには」をテーマに講演を行いました。当院の診療実績、エコー検査の仕方、代表的な甲状腺疾患のエコー像を中心に紹介いたしました。講演後、実際にエコー機器を操作し、多数の医師、臨床検査技師が甲状腺エコー検査の実習を行いました。

「甲状腺エコー検査の基礎と実際を学び、非常に有益であったとの声を多数いただくことができました。この講演を機会に甲状腺エコー検査に興味をもってください、甲状腺疾患の診療に役立てていただければ幸いです。」(北川)



右：足立区医師会 山田理事

## 坂出市の市民公開講座で講演しました

6月16日に香川県坂出市で開催された「甲状腺疾患に関する市民公開講座」で伊藤公一院長が講演しました。

バセドウ病、橋本病、腫瘍と疾患別に症状、検査、治療方法をわかりやすくご説明しました。会場には、230名を超える市民の皆様がお集まりになり、講演後には、聞いてよかった、大変勉強になったとの感想をいただきました。

この講座を主催された総合病院回生病院は昭和31年に開設され、地域医療支援病院として、香川県の救急医療を支えています。また、総合病院として多数の専門外来を設置されていますが、2011年には甲状腺外来も開設されました。同外来の担当医である桑原一宏先生は細胞診検査や迅速検査の導入などにも取り組み、今年3月には当院に見学にもいらっしゃいました。



### 桑原一宏先生プロフィール

総合病院 回生病院の甲状腺外来を担当。日本甲状腺学会専門医・日本内分泌学会専門医・日本糖尿病学会専門医、日本内科学会認定医。2001年北海道大医学部卒。同大で甲状腺がん、アイソトープ治療の臨床と研究に従事。05年から倉敷中央病院。10年から現職。



## 千葉県柏市で講演をさせていただきました

伊藤病院 臨床検査室 佐々木栄司 天野高志

昨年の東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故により、局所的に放射線量が高くなる地域があり『ホットスポット』と呼ばれます。千葉県柏市はそのホットスポットが発見されたことにより、地域住民の方々のために医師会と柏市が医療を含む市政を今後どのように対処していくかの方向性を検討していました。そこで、千葉県柏市医師会より依頼を受け、7月30日に伊藤公一院長、北川亘診療技術部長と臨床検査技師の佐々木栄司・天野高志が『専門病院における甲状腺疾患の初期診断～放射線障害で心配される乳頭癌の診断を中心に～』をテーマに講演をさせていただきました。

講演には柏医師会の先生方や市の職員の方々などスタッフが多数出席され、講演内容を聞き市職員の方々の取り組みや、診療時の患者様への説明方法など活発な質疑応答が行われました。

今後も甲状腺専門病院として社会のお役にたてるよう努力してまいります。



伊藤公一院長



佐々木栄司臨床検査技師



天野高志臨床検査技師



北川亘診療技術部長

### 講演内容

#### 1 伊藤公一院長

“甲状腺疾患診療の実際～甲状腺乳頭癌診断を中心に”

#### 2 天野高志臨床検査技師

“甲状腺乳頭癌のエコー像”

#### 3 佐々木栄司臨床検査技師

“伊藤病院における甲状腺エコー検査”

#### 4 北川亘診療技術部長

“伊藤病院におけるエコーガイド下穿刺吸引細胞診の実際”

伊藤病院 連携施設 大須診療所

## 大須診療所からのお知らせ

### 大須診療所は8周年を迎えました

大須診療所 植木輝

大須診療所は平成16年6月に開設して以来、今年で8周年を迎えました。また、昨年の7月に新築建物へ移転し、1年が経ちました。新診療所ではアイソトープ検査・治療やCT、一般撮影を導入したことにより、移転前よりも甲状腺疾患に対して幅広い検査や治療を行うことが出来るようになりました。

来院される患者さんに居心地の良い診療所となるよう、新たな設備と建物をどのように使ったらよいか、スタッフ全員で日々試行錯誤しつつ、業務改善を進めております。

また、移転後からは火曜日も診療を行い、現在は水・木・金・土は2診察室体制となっております。予約の枠が増えたため、患者様ご希望の日時の予約が取りやすくなり、待ち時間短縮にも繋がっております。

あと2年で、大須診療所も10周年を迎えます。この地域に根付き、信頼される診療所となるよう、職員一同努力してまいります。



### 遠隔読影システムが紹介されました

大須診療所は昨年の移転時に、レントゲン・CTとアイソトープ設備導入に併せ、撮影した検査画像を伊藤病院で読影可能なシステムを導入しました。これにより、多数の甲状腺検査画像を読影している伊藤病院の放射線科医師によるダブルチェックが出来る設備を構築しております。このシステムでは、データの圧縮・暗号化などセキュリティへの配慮はもちろんですが、データ転送による画像の劣化防止や、パソコンの画面上のマウスのポインター情報なども表示する等の機能が付加されており、これらの取り組みについてシステムの販売元である「E L S A J a p a n」の最先端医療事例として紹介されました。

伊藤病院1Fに当診療所への直通電話を設置しております。ご質問などございましたら、お気軽にお電話ください。

#### 大須診療所

住所：愛知県名古屋市中区大須4-14-59

電話：052-252-7305 FAX：052-252-7308 HP：<http://osu-shinryoujiyo.jp/>

猛暑、残暑で、運動を控えていた人も、10月にもなれば、また身体を動かし始めることになるかもしれません。訛った身体に容赦なく襲ってくるあの痛みについて、最近の総説(Muscle soreness and delayed-onset muscle soreness. Lewis PB. Clin Sports Med. 2012 Apr;31(2):255-62. Review.)をご紹介します。

翌日の人でも翌々日の人もあるかもしれません。運動後時間が経ってから出現するあの“筋肉痛”は、Delayed-Onset Muscle Soreness(DOMS: 遅発性筋肉痛) といいます。運動後24時間ほどして出現し、72時間以内にピークとなり、5-7日かけてゆっくりと回復していく、筋硬直(muscle stiffness)、筋痛(aching pain)、圧痛(muscular tenderness)とされています。誰もが経験したことがあるこの筋肉痛ですが、そのメカニズムについては、まだきちんとは説明されていないようです。主に6つの理論があり、1.乳酸蓄積、2.筋攣縮、3.微小外傷、4.結合組織障害、5.炎症、6.電解質、酵素の流出などが想定されていますが、これらが複合的に作用していると考えられています。すなわち、筋肉の伸展により、微細な筋肉の損傷が生じて、それにより細胞内カルシウムの蓄積が生じる。カルシウムは、筋繊維の更なる損傷を来し、周囲の結合組織に広がる。生じた炎症により、痛みを感じるということのようです。

筋肉痛の予防は非常に難しいので、“不慣れな運動を過度に長く続けることを避けること”と記述があります。もっともな意見です。ストレッチについては、運動前と後の両方のストレッチが、DOMSの軽減に有効であるとのことです(Herbert, 2011)。DOMS軽減という観点からは、炭水化物やタンパク質を含むドリンク剤のサプリメントは、運動後の服用が有効であるとされています(Matsumoto K, 2009)。

痛くなったらどうするかについては、“治まるのを待つのが唯一の治療”と記述があります。マッサージの効果についての報告は様々です。有用性が定まらないのは、マッサージのタイミングや方法が様々であることが要因です。マッサージが、筋肉の血流を増加させるかどうかについても、明らかではありません。冷却や振動療法、栄養ドリンク(ざくろジュースなど)の効果も明らかではありません。非ステロイド性抗炎症薬(NSAID)の有用性の報告は多く、痛みの軽減に有効とされていますが、DOMSに関連する筋力低下の期間や程度の改善には繋がらないようです。最も有効で、強く推奨されることは、適度な運動の継続であると記述されています。運動は、局所血流を増加させ、分泌されるエンドルフィンには鎮痛効果も期待できます。もちろん、筋肉の損傷をもたらすような過度の運動の継続は悪影響をもたらします。

このように、世の中で行われている様々な運動前後の取り組みも、医学的にはまだまだ不明の事柄も多いようです。もちろん、エビデンスがないからといって、取り組みが無意味であるというつもりはありません。益々、研究が進んで、あの痛みから開放してほしいものです。

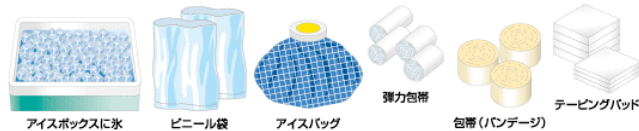
最後に、筋肉痛ですまない状況、外傷を受けたときの緊急処置として、RICE処置をご紹介します。患部の安静(Rest)、冷却(Icing)、圧迫(Compression)、挙上(Elevation: けがの場所を心臓より高く挙げる)で、捻挫や肉離れなどの四肢のケガに行います。

日本整形外科学会スポーツ医学部の「スポーツ損傷シリーズ3」(<http://www.jossm.or.jp/series/index.html>)から引用しておりますので、ご参考にさせていただきます。

## RICE処置

外傷を受けたときなどの緊急処置は、患部の出血や腫脹、疼痛を防ぐことを目的に患部を安静(Rest)にし、氷で冷却(Icing)し、弾性包帯やテーピングで圧迫(Compression)し、患部を挙上すること(Elevation)が基本です。

RICEはこれらの頭文字をとったものであり、スポーツを始め、外傷の緊急処置の基本です。RICE処置は、捻挫や肉離れなどの四肢の「ケガ」に行います。



## RICE処置に必要な機材

### 1. Rest(安静)

損傷部位の腫脹(はれ)や血管・神経の損傷を防ぐことが目的です。

副子やテーピングにて、損傷部位を固定します。



### 2. Ice(冷却)

二次性の低酸素障害による細胞壊死と腫脹を抑えることが目的です。ビニール袋やアイスバッグに氷を入れて、患部を冷却します。

15～20分冷却したら(患部の感覚が無くなった)はすし、また痛みが出てきたら冷やします。これを繰り返します(1～3日)。



なるべく直接氷をあてずに、アンダーラップを巻いたり、氷の入ったビニール袋をタオルでくるみます

### 3. Compression(圧迫)

患部の内出血や腫脹を防ぐことが目的です。スポンジやテーピングパッドを腫脹が予想される部位にあて、テーピングや弾性包帯で軽く圧迫気味に固定します。



患部にパッドなどをあてて弾性包帯やテープで巻きます。ときどき指先などをつまんで感覚や皮膚・爪の色をチェックします

### 4. Elevation(挙上)

腫脹を防ぐことと腫脹の軽減を図ることが目的です。

損傷部位を心臓より高く挙げるようにします。



# 表参道寄り道スポット

## うさぎカフェ Ra.a.g.f(ラフ)

以前、当院のVoiceで猫カフェをご紹介させていただきましたが、今回はうさぎカフェのご紹介です。うさぎカフェは聞きなれませんが、最近人気が出てきているようです。渋谷側のキャットストリートの一本隣道の静かな雰囲気の中、メゾン原宿という茶色のレンガの建物があります。その建物の3階にうさぎカフェ「Ra.a.g.f」(うさぎとあそべる専門店Ra.a.g.f)はあります。

建物の前のかわいらしいうさぎたちの看板が目印です。

店内に入るとすぐにたくさんのうさぎたちが出迎えてくれるので、とてもアットホームな雰囲気です。お店のシステムは30分600円、60分1000円と時間制でフリードリンク、飲食物の持ち込みも可能です。うさぎのおやつは100円で、遊びながらあげることができます。

お店では自分が気に入ったうさぎと触れ合えます。抱きかかえたり、おやつをあげたり、またこちらでは写真撮影も可能です。うさぎは一匹一匹性格が違うようで抱っこが好きなお子や元気いっぱい飛び回ってる子、端っこが好きなお子などいろんなうさぎがいます。一緒にいて頭をなでたり、おやつをあげると喜んでるのがわかります。

こちらでは気に入ったうさぎをその場で購入し連れて帰ることもでき、いろいろな飼育のアドバイスやグッズ(飼育用品)も購入することができます。皆さんもかわいいうさぎたちに触れ合ってみてはいかがでしょうか？

※店内に入るとすぐにうさぎがいる空間です。動物アレルギーのある方はお気をつけ下さい。



### お店の方から一言

Ra.a.g.fには販売しているうさぎの他にもさまざまな種類のスタッフうさぎ達が在籍しています。手触り抜群のミニレックスや大型種のフレンドシップ、小さくて可愛いネザーランドワフ、たくさんの個性豊かなうさぎ達とぜひモフモフにいらしてくださいね。

名称	Ra.a.g.f (ラフ)
住所	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-14-15 メゾン原宿3F
TEL&FAX	03-6805-0328
E-mail	info@raagf.com
HPアドレス	http://raagf.com/shop/harajuku/
営業時間	平日 12:00 ~ 19:30(最終入店 19:00) 土日祝日 11:00 ~ 20:00(最終入店 19:30) 毎週金曜日・第三木曜日(9月は15日)
定休日	明治神宮前(A7出口より徒歩約5分) 原宿駅(表参道口より徒歩約8分) 渋谷駅(13番出口より徒歩約15分)
アクセス	

基本  
DATA

## 表参道市場 伝

青山通りA O(アオ)ビルの一つ裏の道に入るとステキなたたずまいで雰囲気のある店頭が目に入ってきます。思わず立ち止まってしまう店、そこに「表参道市場 伝」があります。

表参道市場「伝」は「母が子どもに食べさせたいもの、父が子どもに残したいもの」をコンセプトに、自然栽培・有機栽培などの旬野菜や加工食材、調味料類を扱う自然食品店です。

代表の大森さんが全国各地へと出向き、目と口で確かめたこだわりの品が店内に並んでいます。店内には少量で多品種の野菜があり、初めて見る野菜も多いです。市場には出回らない、ここでしか手に入らない野菜セットや予約販売も行っています。特にパセリドレッシングは予約しないと買えないほどの人気があります。



青パパイヤジュース 500円

また、旬の果実を使ったフレッシュジュースも大人気だそうです。

大森さんは不動産業界から転職し「母親が子供に食べさせたいものは何か？」という思いでお店を始めました。大森さんはとても気さくな方で珍しい食材については調理方法やレシピも教えて下さるそうです。月に一回お店の二階でイベントを開催し講演もなされています。そして、なんと「伝」にはかわいい子供店長もいます。運がいいと店頭に立っているかもしれませんね！

ちょっとした空き時間に普通のお店では味わえない珍しい野菜のおいしさを体験しに立ち寄りてみてはいかがでしょうか？

### お店の方から一言

品数は少ないですが、ここでしか入手できない美味しいものを取りそろえています。表参道でちょっと休憩といふ際には是非、お立ち寄り下さい。青パパイヤジュース等もごさいます。



名称	表参道市場 伝
住所	〒107-0061 東京都港区北青山3-10-15
TEL&FAX	03-6427-9528
HPアドレス	http://www.omotesandoichibaden.com/
営業時間	11:00 ~ 19:00
定休日	火曜日

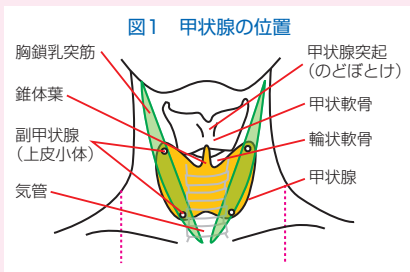
基本  
DATA





### 甲状腺の位置と形態(図1)

頸部前方、喉仏のすぐ下であり蝶が羽をひろげたような形で気管を抱き込むように付着しています。正常甲状腺の大きさは4×4cmほどで重さは15-20g程です。



### 甲状腺の働き

体外から摂取したヨウ素を原料として甲状腺ホルモンを合成・分泌を行います。甲状腺内にはおよそ10ヶ月分の甲状腺ホルモンが蓄えられています。

### 甲状腺ホルモンとは？

①成長や発育、②新陳代謝の活性化、③精神神経や身体活動の調整、等に関与するホルモンで、脳下垂体によって体内の分布が常に一定になるようにその分泌が調節されています。

### 甲状腺の異常

甲状腺の異常には①甲状腺ホルモンの異常、②甲状腺の腫れ、の2種類があります。自覚症状は甲状腺ホルモンの異常を伴ったときのみ見られます。甲状腺が腫れている場合においてはよほど大きく腫れていない限り自覚症状は出ません。

#### ①甲状腺ホルモンの異常を来す場合

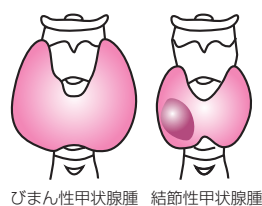
甲状腺ホルモンの異常を来したときは表1のような自覚症状が出現します。これらはあくまでも甲状腺ホルモンの異常を来したときのみ出現します。治療が進みホルモンが正常になった際にはこれらの症状は消失します。

#### ②甲状腺が腫れる場合

図2のように甲状腺の腫れはびまん性甲状腺腫、結節性甲状腺腫に分けられます。びまん性甲状腺腫にはバセドウ病や橋本病、さらに甲状腺の腫れのみで特になんの問題もない単純性びまん性甲状腺腫等が含まれます。結節性甲状腺腫は甲状腺内にしこりが出来る状態で良性腫瘍、悪性腫瘍(癌や悪性リンパ腫)、嚢胞(甲状腺内にふくらむ状のものが出来内部に液体が貯留する)等が含まれます。結節性甲状腺腫の大部分はホルモン異常を伴いません。

当院では採血、超音波検査を中心としてこれらの異常を的確に診断し治療に結びつけられるように検査態勢を整えています。

図2 甲状腺の腫大



当院は2010年にISO9001を所得しておりますが、本年6月21日22日の2日間にわたり、日本能率協会審査機構による品質マネジメントシステムに関する審査が実施されました。ISO9001の認証期間は3年ですが、その間も毎年サーベイランス審査があります。

今回の審査は当院の品質マネジメントシステムが運用を開始してから2年を経過したことに伴う「更新審査」で、品質マネジメントシステムが引き続きISO(国際標準化機構)の国際規格に従って運用されているかどうかを審査するものでした。審査にあたっては、日本能率協会審査機構の審査員が、院長、副院長、事務長をはじめ、ISO事務局を含めた全部署に対して、下記の項目を中心に審査が行われました。

### 審査の内容

- 品質マネジメントシステムの運用
- 法規制の遵守
- 新規医療サービスの導入状況
- 内部監査の実施状況
- 職員の教育訓練の実施状況
- 情報管理の状況



審査の結果、不適合として指摘を受ける事項はなく、加えて下記の取り組みについて審査員より高く評価いただきました。

### 評価された点

- 診療部 客観的指標に基づいて医師のスキル評価が行われている。
- 看護部 カンファレンスでの検討結果を患者様の治療計画に確実かつ迅速に反映できている。
- 診療技術部 検査待ち時間の短縮など、顧客満足度向上への取り組みがなされている。

次回の審査は初の更新審査となります。今後も引き続き、ISOを適用してより安全で質の高い医療提供を目指して、業務の改善・見直しを行い、患者様の満足度向上につなげていきたいと考えております。

表1 甲状腺ホルモン異常に伴う症状

	甲状腺ホルモン過剰時の症状	甲状腺機能低下時の症状
全身症状	倦怠感、微熱、不眠、暑がり、発汗過多、体重減少	倦怠感、易疲労感、嚙声、寒がり、体重増加
精神症状	イライラ感、落ち着きのなさ、不安感、神経症	活力低下、意欲低下、抑うつ状態、眠気、記憶力低下
消化器症状	食欲亢進、軟便、下痢	便秘、食欲低下
循環器症状	動悸、頻脈、不整脈	徐脈、浮腫
神経・筋症状	手指振戦、下肢脱力発作(男性)	筋力低下、筋肉痛、筋萎縮
皮膚症状	にきび、下腿前面の皮膚変化	脱毛、眉毛の脱落、皮膚乾燥/粗造
産婦人科症状	過小月経、無月経	月経過多、不妊、流産、乳汁分泌

9月号から新しいコーナーを追加させていただきました。  
「各部署のご紹介」として、2011年に入職した各部署の職員を対象に、入職してから携わってきた業務を簡単に紹介させていただきます。  
9月号は医事室・手術室をご紹介しますので、お読みください。

## 手術室

伊藤病院 手術室 廣瀬佳衣

はじめまして、去年手術室に入職した廣瀬と申します。

甲状腺疾患に関してより専門的な知識を学ぶ為に、昨年入職し手術室で勤務しております。

みなさん、手術室といえほどのようなイメージをお持ちでしょうか？今回は私が所属している手術室についてご紹介させていただきますと思います。

当院では、一日約10件の手術を行っています。手術前に少しでも患者様の緊張感を和らげるために、医師・手術室・病棟スタッフが連携をとっていろいろな工夫をしています。

1. 私たち手術室看護師は、手術前に担当患者様のお部屋へお伺いし、写真付きのパンフレットを用いて手術室入室から退出までのイメージをしていただけるようオリエンテーションを行っています。
2. 手術中は、みなさんがドラマで見えるような医師に手術器具を渡す看護師と手術がスムーズに進むように手術全体をコーディネートする看護師がおり、手術をサポートしております。
3. 手術室では整理整頓し清潔を保つようにしていますが、それが殺風景にならないようカーテンの色の変更や風景写真の提示などを行っています。
4. 手術室内も視覚的にもリラックスできるように花柄模様のユニホームを着て、安全に手術が行えるようサポートし、少しでも患者様の不安が軽減できるよう努めております。

入院から退院まで患者さまが安心して入院治療ができるよう、これからもスタッフ全員が一心同体となって、患者様によりよい医療サービスをご提供できるよう頑張りたいと思います。



趣味は山登りです。手術室のスタッフにも山登りが趣味の人がいるので、一緒に山登りを楽しんでいます。将来、手術室スタッフ全員で富士山を登ることを目標とし、少しずつ山ガールの輪を拡げていきます。



## 医事室

伊藤病院 医事室 瓦林拓郎

昨年の4月に事務部医事室に入職した瓦林拓郎です。私は人と接する職種が好きで、大学在学中は販売員のアルバイトをしていました。

接客業で培った経験を生かして、もっと人の役に立つ、心や体のケアに関わるような仕事がしたいと考え、伊藤病院に入職いたしました。医療従事者の一員として責任ある行動を心がけ、また患者様とのコミュニケーションを大切に、皆様から信頼していただけるような医事室職員を目指し、日々頑張っております。

そんな未熟な私ですが、患者様からの「ありがとう」の一言はいつも励みになり、本当にやりがいのある仕事だと実感しています。私が所属している医事室の業務内容をご紹介します。

医事室には現在24名在籍しており、主な仕事は受付業務・会計業務・書類係業務・入院医事業務です。

受付では、窓口での対応業務を中心に、電話対応、1階フロアでの案内を行っています。会計では、外来患者様の会計業務や自動精算機の案内、現金集計業務等を行っています。書類係は、保険会社宛での書類作成や書類に関する各種問合せ業務を行い、入院医事では、入院患者様の会計業務や病棟の窓口業務等を行っています。

私は入職して一年数か月、これまで会計業務を担当して参りました。まだまだ勉強不足ではありますが、これからは一つ一つの業務の意味を良く理解し、病院理念のもと、甲状腺疾患や診療報酬の保険制度に対する知識を深め、患者様により良いサービスを提供できるよう日々精進して参りますので、よろしく願い致します。



私の趣味は釣りです。釣りは自然相手に楽しむものなので毎回毎回違う状況で楽しむことが多く、すごく魅力を感じています。幼い頃から自然が好きで様々な釣りをしてきましたが今一番熱中しているのが海でのライトルアーゲームです。餌で釣るのではなく、疑似餌を使い魚に餌を釣るのではなく、疑似餌を使い魚に餌を釣るのだと思わせて釣るスタイルがとてもゲーム性の高い釣りです。その場の状況や変化を感じ、高い釣りです。その場の状況や変化を感じ、高い釣りです。その場の状況や変化を感じ、高い釣りです。



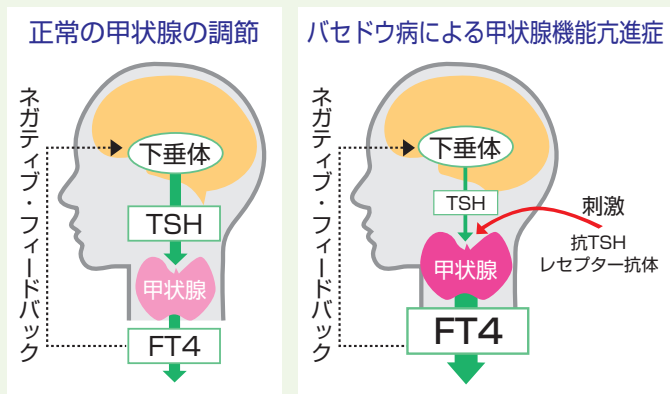
甲状腺ホルモンとは甲状腺でヨウ素を原料に作られるホルモンで、T3(トリヨードサイロニン)、T4(サイロキシンの)2種類があります。甲状腺から分泌されるのは大部分がT4ですが、T4は組織でT3に変えられて、T4の約10倍の強さを持ちます。T3,T4の大部分は血液内の蛋白と結合していますが、蛋白と結合していないフリーのホルモンで、実際に直接体で働くホルモンのことをFT3(遊離トリヨードサイロニン)、FT4(遊離サイロキシンの)といいます。

TSH(甲状腺刺激ホルモン)は脳下垂体から分泌され、甲状腺からの甲状腺ホルモンの分泌を促すホルモンです。体の中にはホルモンを一定にしようというシステムがあり、甲状腺ホルモンが多い時は脳下垂体がそれを感知してTSH分泌を少なくします。反対に甲状腺ホルモンが少ないときには脳下垂体からTSHがたくさん分泌されます。

## 1. バセドウ病

バセドウ病は甲状腺を過度に刺激するTSHレセプター抗体(TRAbs)が原因で甲状腺ホルモンが過剰に分泌される病気です。治療前はFT3,FT4高値、TSH低値です。

TRAbsはバセドウ病の診断の指標となります。TRAbsが高値であればまずバセドウ病で間違いがありません。TRAbsは治療効果・再発の指標ともなり、TRAbsが高い時はバセドウ病の勢いが強く、TRAbsが正常範囲内のときは落ち着いていると考えます。



## 伊藤病院の院内システムが紹介されました

当院が独自に構築した電子カルテシステムが「日本情報産業新聞」の別冊I T活用事例で紹介されました。

電子カルテは、情報の一元化・共有化、業務の効率化など院内全体に幅広くメリットがありますが、それだけに障害が発生した場合には、診療業務全般に直接影響を及ぼしてしまいます。

当院では、血液検査、エコー検査、画像データの保管、受付・会計、薬局など多数のシステムが電子カルテを中心に連携して稼働しています。これらのシステムは20ほどのサーバーが支えておりますが、特に重要なシステムについては全ての部品が二重化されていて、部品の故障時にも継続して稼働する特別なサーバーを使用しています。

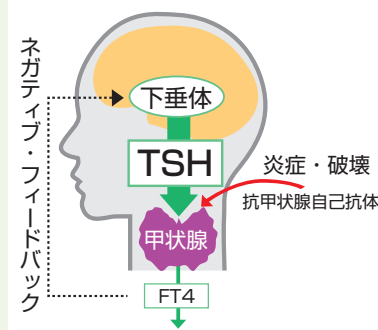
2005年の電子カルテ導入以来、何度かのトラブルはございましたが、幸いにして診療中止にいたるトラブルは現在まで発生しておりません。今後もより安全で効率的なシステムの構築と、障害発生時には患者様への影響を最小限に抑えるための運用検討を進めてまいります。

## 2. 橋本病(慢性甲状腺炎)

橋本病は甲状腺に慢性の炎症が起こっている病気で、慢性甲状腺炎とも言われます。一般に橋本病というと甲状腺機能が低下する病気というイメージがありますが、機能が正常な橋本病の方もたくさんいらっしゃいます。機能が低下した方ではFT3,FT4低値、TSH高値となります。橋本病の典型的な症状である倦怠感、むくみ、物忘れなどは機能が正常な方には生じません。

抗サイログロブリン抗体(TgAb)、抗TPO抗体(TPOAb)は橋本病で陽性となることが多い抗体です。これらの甲状腺

## 橋本病による甲状腺機能低下症



腺に対する作用は今のところはっきりしていません。橋本病の診断の指標として用いられていますが、TRAbsとは異なり値が高いから重症であるとか、病気が進行しやすいかどうかを判断するものではありません。

## カルテ管理に関する当院の取り組み No.1

伊藤病院 診療情報管理室 真原章郎

当院は昭和12年の開設以来一貫して甲状腺疾患診療を主力としてまいりました。甲状腺疾患は慢性疾患であり、長期的な治療を要するために患者の診療記録(カルテ)は病院の方針として永久保管を継続しております。残念ながら昭和20年(1945年)に第2次世界大戦の空襲により、それまでの紙カルテは焼失してしまいましたが、それ以降の紙カルテはすべて保管され、いつでも抽出できる状態にあり、その数は36万件にも上ります。

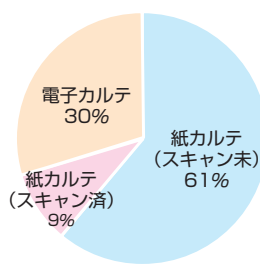
2005年1月より電子カルテを導入し、同年5月からは専任スタッフを配置し、紙カルテをスキャン後、画像情報として電子カルテに登録する取り組みを開始いたしました。現時点で約4万5000件の登録が終了しています。(全体の9%程度)

また入院日や手術日、アイソトープ治療日などについてはインデックスをつけ、重要な診療情報は簡単に検索できるように工夫し、外来診療時の有効活用につなげています。

これらの取り組みが、日本画像情報マネジメント協会の発行する「月刊IMJ」で紹介されました。(月刊IMJ2012年4月号「伊藤病院の長期診療に対応する電子カルテと紙カルテの融合」)

当院では今後も患者様に安全で安心な医療をご提供するために質の高いカルテを適切に利用できる態勢を目指してまいります。

紙カルテと電子カルテの割合 (2012年9月)



**Case Study** インフォビュー

**伊藤病院の長期診療に対応する電子カルテと紙カルテの融合**  
75年の歴史と一日外来数1000人のカルテ管理を極く

伊藤病院は甲状腺疾患診療に特化した専門病院として、全国に誇れる診療実績を誇る。75年の歴史と一日外来数1000人のカルテ管理を極く、その中で長期診療に対応する電子カルテと紙カルテの融合を実現し、患者様の診療記録を安全に保管し、いつでも抽出できるように工夫し、外来診療時の有効活用につなげています。

伊藤病院の取り組みが、日本画像情報マネジメント協会の発行する「月刊IMJ」で紹介されました。

伊藤病院の取り組みが、日本画像情報マネジメント協会の発行する「月刊IMJ」で紹介されました。

## カルテ管理に関する当院の取り組み No.2

伊藤病院 診療情報管理室 真原章郎

当院は昭和12年開設し、今年で75周年を迎えます。当初より一貫して慢性疾患である甲状腺疾患診療を主力としてきたため、昭和21年以降の診療記録(紙カルテ)は病院の方針として永久保管を継続してまいりました。

しかしながら、昭和21年~昭和33年頃までの紙カルテの紙質は粗悪であり、劣化が進み変色などで判読不能になりつつあることも否定できません。(写真1)

この度、75周年の記念プロジェクトとして初期の紙カルテのマイクロフィルム化(アーカイブズ化)を行い、診療情報を適切な状態で永続的に保存するという事業を実施することになりましたので、その概要を説明させていただきます。

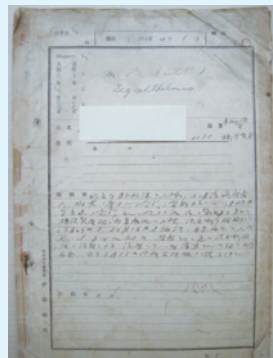


写真1

### 特徴

紙カルテを適切に保存するために記録媒体としてマイクロフィルム(写真2)を選択し、画像情報として保存することいたしました。マイクロフィルムを選択した理由は下記の通りです。

- 1 長期的な保存が可能であり、適正な保存条件下では500年以上の寿命が期待でき、永久保管に相当するため。
- 2 画質は3000dpiに相当し、デジタルデータより高い画質が得られるため。(デジタルデータは通常400dpi前後)
- 3 原本の保護性に優れており、元情報をそのまま複写するために信頼性が高い。
- 4 膨大なデータ量(約4500ページ)を保存できるため。
- 5 デジタル変換が可能のため電子カルテで利用できる。



写真2

### 方法

紙カルテをマイクロフィルム化する作業は特殊な機器と専門的な資格が必要ですので、専門の業者に依頼して実施します。対象の紙カルテは劣化が進んでいるため、取扱いには繊細な注意が必要となります。

- 1 患者番号順に診療記録を並べる。
  - 2 撮影前作業として診療記録を1枚ずつに剥がす。
  - 3 ミノルタ製DR1600(写真3)を使用して表紙から順番に1ページずつ撮影する。(写真4)
  - 4 フィルムの現像は富士フィルム製AP5(写真5)を使用する。
- ◆マイクロフィルムからデジタルデータへ変換する場合はマイクロフィルムJPEG変換装置(写真6)を使用する。



写真3

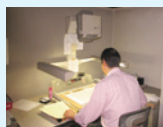


写真4



写真5



写真6

## 院内感染対策への取り組み

伊藤病院 ICT・臨床検査室室長 宮崎直子

当院は、患者様に適切かつ安全で質の高い医療の提供を図るため、院内感染対策委員会及びこの委員会を支える実務委員によるICT(感染制御チーム：Infection



Control Team)を組織し、院内感染対策体制の確立に取り組んでおります。この取り組みを推進するため、平成24年4月に新設された「感染防止対策加算2」の届出を関東信越厚生局におこない、社会福祉法人 仁生社 江戸川病院(418床：東京都江戸川区)と連携しながら、さらなる院内感染対策体制の強化に努めることになりました。具体的には年4回程度の感染防止対策に関する合同カンファレンスを開催し、感染防止対策の検討や意見交換をおこないます。

当院では、外部の医療機関の活動やアドバイスも参考にし、これからも職員が一丸となり院内感染対策に取り組んで参ります。

## 当院は渋谷区の災害時拠点病院となりました

渋谷区は1995年の阪神淡路大震災後、全国でもいち早く独自の条例制定に動きました。昨年の東日本大震災後もすぐに防災対策強化のための会議を開催するなど、災害に対する意識が非常に高く、併せてホームページを通じて様々な情報を提供しています。これらの活動が評価され、日本経済新聞社による「防災行政における市民連携度」ランキングでは、渋谷区が全国1位となりました。

災害時の医療体制については、渋谷区の保健所と医師会が中心となって体制強化を進めておりますが、この度、当院に要請があり、災害発生時に救護所からの重傷者受け入れなどを担う「拠点病院」としてご協力することとなりました。

近年、首都直下型地震の発生が危惧されております。もしもの場合にも、院内にいらっしゃる患者様の安全確保のためスムーズに行動できるよう、職員の訓練と知識向上を図りつつ、さらなる災害対策を進めてまいります。

ベンチ型の災害救助物品保管庫や折りたたみ担架など、院内の狭いスペースを有効活用して災害備蓄を行っております。



## 保育ボランティアのご紹介

当院では、2つのボランティアグループにご協力いただき、毎週金曜日に、診察中に小さなお子様をお預かりしております。前号では田園調布ボランティアグループに続き、遠藤ボランティアグループのご紹介をさせていただきます。

### 遠藤ボランティアグループの発足と活動

遠藤ボランティアグループ 関千代

遠藤ボランティアグループは、故 遠藤周作氏が「患者からのささやかな願い」と題して書かれた新聞記事に共感し、1982年、6名でスタートしました。現在、会員は58名、来年は30周年を迎えます。

#### 理念「四つの願い」

- 一、遠藤周作氏が提唱した「心あたたかな医療」の実現をめざします。
- 二、患者さんの声に、私たちは耳を傾けます。
- 三、いつも患者さんの目線で、優しく寄り添います。
- 四、患者さんのために、ささやかなお手伝いをいたします。

をもとに、6病院、2ナーシングホーム、1老人ホームで図書、外来受付、小児のお世話、お話し相手と、病院によって様々な活動をしています。

伊藤病院では1983年から毎週金曜日の午後2時から4時まで、田園調布ボランティアグループと隔週ごとに担当、患者さんと一緒に来られたお子さんのお世話をしています。

お母さんから離れられず恥じらいながらも遊び始め、お母さんの診察が終わって帰る頃にはすっかり夢中になって、帰りたくない、駄々をこねるお子さんの可愛らしさや長期通院の顔見知りのお子さんの成長ぶりに私たちも喜びをいただいています。

時にはお母さんから先輩ママとして育児相談を受けることもあります。

「楽しかった」の一言と笑顔に、私も元気をいただいて20年続けてまいりました。

私たちが長年活動を続けてこられたのも、病院側のボランティア活動へのご理解と温かいご配慮の賜と、感謝いたしております。これからも会員一同、ささやかなお手伝いを続けてまいります。お子さんをお連れのお母さんの方、ぜひ、ご利用ください。



## 青山五丁目児童遊園

伊藤病院から徒歩7分程(約450メートル)に位置する青山五丁目児童遊園は、都営青山北町アパートに隣接する公園です。都心には身近な公園が少なく、親子共に遊具で遊びながらリラックスできる場所は貴重な存在になっています。大きな木の下には児童用のジャングルジムが設置されており、木陰の下で体を動かすことができます。

伊藤病院の近隣には、代々木公園や明治神宮公園といった大きな公園もありますが、ぜひ当院近隣の身近な公園へ探索されてみてはいかがでしょうか。場所は伊藤病院から表参道交差点を左に曲がり、ワールドビル(Francfranc斜向かい)の脇の小道を通り抜けたところにあります。



## 編集後記

今年も暑い夏でした。そして、今年の夏はロンドンオリンピックでさらに熱く盛り上がりました。オリンピックの感動はまだ冷めやらないですが、気がつけば、少しずつ秋の気配さえ感じる今日この頃です。

今号は75周年記念特別号として、当院の歴史や統計情報をご紹介させていただきました。私は今年入職したのですが、当院のこれまでの歴史を振り返り、75年間の歴史の重さを実感しました。この経験と実績を礎に、また新しい歴史作っていくのだと、身の引き締まる思いです。

そして、Voiceは皆様との懸け橋として、お知らせから表参道の観光・グルメスポットまで、少しでも楽しんでいただけるような幅広い情報をお届けしたいと思っています。今後もご期待ください。それでは、次号もお楽しみに。(塩谷)

伊藤病院75周年記念号は別冊で9月中旬に発行予定です。どうぞお楽しみに！

## 甲状腺疾患書籍のご案内

★いずれの書籍も伊藤病院1F売店で販売しております。ぜひ、ご活用ください。



### 「よくわかる甲状腺の病気」

著者：伊藤公一  
定価：1,360円(税込)  
発行：主婦と生活社



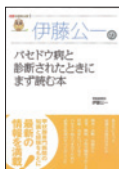
### 「甲状腺の病気」

速やかな回復のための最新知識  
監修：伊藤公一  
定価：1,365円(税込)  
発行：法研



### 「甲状腺の病気の治し方」

監修：伊藤公一  
定価：1,260円(税込)  
発行：講談社



### 伊藤公一のバセドウ病と診断されたときにまず読む本

著者：伊藤公一  
定価：1,470円(税込)  
発行：主婦の友社



### 「甲状腺の病気の最新治療

パセドウ病・橋本病・甲状腺腫瘍ほか  
監修：伊藤公一  
定価：1,470円(税込)  
発行：主婦の友社



新刊

### 「図解 甲状腺の病気がよくわかる最新治療と正しい知識」

監修：伊藤公一・高見博  
定価：1,470円(税込)  
発行：日東書院

発行 2012年9月1日発行 第39号 伊藤病院広報誌委員会

**ITO HOSPITAL**  
伊藤病院

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前4-3-6  
TEL : 03-3402-7411  
FAX : 03-3402-7415  
URL : <http://ito-hospital.jp>